

News release

スイス・リー、2018年第1四半期の純利益4億5700万米ドルを計上、 2018年5月7日より自社株買いを開始

- 2018年第1四半期のグループ純利益は4億5700万米ドル、総収入保険料は13.1%増の115億米ドル
- 米国会計基準の変更によるマイナスの影響は税引前で推定2億8000万米ドル
- 損害再保険事業の純利益は3億4500万米ドル、自己資本利益率は13.5%、年初来の契約更改を通じて同事業のポートフォリオは拡大
- 生命・医療再保険事業は引き続き安定した収益を計上し、純利益2億100万米ドル、自己資本利益率は11.5%、総収入保険料は22.3%増
- コーポレート・ソリューションズの純利益は4100万米ドル、総収入保険料¹は32.3%増
- ライフ・キャピタルのキャッシュフローは飛躍的に伸び、7億500万米ドルを計上
- 投資利益率(ROI)は2.2%で、米国会計基準の変更によるマイナス影響があった。直接利回りは2.8%
- 2018年5月7日付けで10億スイスフランを上限とする自己株式の公開買付を開始

チューリッヒ、2018年5月4日 – スイス・リーは、2018年第1四半期の純利益が4億5700万米ドルとなったことを発表しました。当期の決算では、米国会計基準の変更による税引前のマイナスの影響として推定2億8000万米ドルも反映されています。今回の変更は2018年当初に発効したもので、株式投資の認識と評価についての新しい基準が反映されています。2018年第1四半期のグループの自己資本利益率(ROE)は、年換算で5.6%でした。米国会計基準の変更の影響を除くと、グループの推定純利益は6億7800万米ドル、該当するグループのROEは8.3%を計上していたこととなります。第1四半期の総収入保険料は13.1%増の115億米ドルとなり、全営業セグメントで伸びが見られたものの、特に生命・医療再保険とライフ・キャピタルの両事業部の伸びが目立ちました。この非常に強い資本基盤と高い財務柔軟性を考慮して、スイス・リーは2018年5月7日付けで10億スイス・フランを上

Media Relations,
Zurich
Telephone +41 43 285 7171

New York
Telephone +1 914 828 6511

Singapore
Telephone +65 6232 3459

Investor Relations,
Zurich
Telephone +41 43 285 4444

Swiss Re Ltd
Mythenquai 50/60
P.O.Box
CH-8022 Zurich

Telephone +41 43 285 2121
Fax +41 43 285 2999

www.swissre.com
[@SwissRe](https://twitter.com/SwissRe)

¹ 総収入保険料にはデリバティブ形式商品の保険料も含まれますが、再保険事業部の内部フロンティング分は差し引かれています。

限とする公開買付による自社株買いプログラムを開始することいたしました。

スイス・リー・グループの最高経営責任者であるクリスチャン・ムーメンターラーは次のように述べています。「当社は2018年第1四半期において、再保険料率が改善しつつも依然として厳しい環境にあるなかで成長を続け、引受規律を守りながら全体的に好調な業績を残しました。第1四半期は、再保険事業が好業績だったほか、ライフ・キャピタルが総キャッシュフローを飛躍的に伸ばし、当社の多角的ビジネスモデルの重要性を改めて示しています。総収入保険料も、アジアと欧州・中東・アフリカ地域 (EMEA) における堅固な伸びを反映して増加しました。」

第1四半期の業績は新しい米国会計基準の下で発表

スイス・リーは2018年第1四半期の業績として、純利益4億5700万米ドルを計上しましたが、これには2018年1月1日付けで発効した株式投資の認識および評価に関する新しい米国会計基準が反映されています。この新しい基準では、株式投資の公正な価値を売却時ではなく各会計期間に認識するように変更が求められています。ただし、持分法適用株式、あるいは投資先の連結業績に計上される株式についてはその対象となりません。この会計基準の変更により、2018年第1四半期の純利益に税引前で2億8000万米ドルのマイナスの影響があったと推定されます。今回の変更は過去にさかのぼって適用されるものではないため、新基準の実施により今年度と前年度の比較可能性が限定的になります。推定される会計基準の影響を2018年第1四半期の業績から除いた値については、参考までに以下に記載しました。

当該期間のグループの自己資本利益率は年換算で5.6%、同じくグループの投資利益率は年換算2.2%でした。2018年の会計基準の変更と、同第1四半期の株式市場の業績がマイナスとなったことの両方の要因が影響しました。新しい米国会計基準の影響を除いた場合、推定ROEは8.3%、その場合のROIは3.2%となります。債券の利回りは、会計基準の変更の影響を受けず2.8%でした。

2018年第1四半期の総収入保険料は13.1%増の115億米ドルとなりました。これは全営業セグメントでの伸びと為替相場の変動の影響を反映しています。スイス・リーは引き続き資本を配分するリスクプールの選定を慎重に行い、厳格な引受規律を維持しています。為替レートの影響を除いた総収入保険料の増加率は6.8%となりました。

2018年4月4日の投資家説明会で概要が明らかにされたとおり、スイス・リーの資本基盤は引き続き非常に盤石で、グループのSST比率は269%を維持しています。スイス・リーは業界屈指の水準である資本基盤と、魅力的な成長機会に投資をする高い財務柔軟性を維持しています。比較可能性を高めるために当グループではソルベンシーII比率の推定値も算出しており、これは310%を超えています。

グループの最高財務責任者であるジョン・デイシーは次のように述べています。「新しい米国会計基準の影響があつたにもかかわらず、第1四半期にこの業績を達成することができたことに満足しています。同一条件に基づいて比較した場合、グループが発表した業績は対前年同期で概ね安定的であると言えます。当社では責任準備金もこれまでと変わらずに潤沢で、資本基盤は引き続き非常に盤石です。このため、株主の皆様に対する余剰資本の還元を維持することができます。」

投資業績の悪化に一部相殺されたものの損害保険事業部の純利益は好調

損害再保険事業部の2018年第1四半期の純利益は3億4500万米ドルとなり、年換算ROEは13.5%となりました。コンバインド・レシオは大規模な損失事象が少なかったことに支えられ、92.0%と改善しました。さらに、過年度からの影響は若干のプラスでした。

2018年第1四半期の総収入保険料は4.5%増の60億米ドルでした。為替レートの動きが有利に働いたことが主な要因です。

年初来の契約更改でポートフォリオが拡大

スイス・リーは4月の契約更改において引受規律を維持しました。年初来て特約保険料のボリュームは7%増加した一方、料率の増加は2%に留まりました。更改後のポートフォリオのリスク調整後の適正料率は、前年同期より2ポイント改善して103%となりました。2018年1月の更改時と比べて安定を維持し、グループのサイクルにおけるROE目標を達成するためのハードルレートは超えました。

生命・医療再保険は実績好調が継続

生命・医療再保険事業部は、2018年第1四半期の純利益2億100万米ドルを計上しました。投資収益が良好であったことと、大口契約が下支えとなりました。年換算したROEは11.5%でした。第1四半期の債券の利回りは3.3%と、2017年通期と比べて安定した状態にあります。

同四半期の総収入保険料は40億米ドルとなり、前年同期の32億米ドルから増加しました。これは主にアジアとEMEA地域における保険料の伸びと、為替レートの変動が有利に働いたことが原因です。

コーポレート・ソリューションズは市場環境改善の恩恵を受けて業績を伸ばす

コーポレート・ソリューションズは2018年第1四半期の純利益4100万米ドルを計上しました。この業績は、市場環境が主に軟化していた前年度に引受を行った契約が影響しており、年初来3ヶ月間のコンバインド・レシオは100.2%となりました。第1四半期の年換算投資収益率は7.0%でした。

2018年第1四半期の総収入保険料は²32.3%増の9億1400万米ドルとなりました。大部分の地域と種目において取引が増加したことが主な要因でした。

コーポレート・ソリューションズは、元受幹事保険会社としての引受能力に投資をすることで、その戦略に関して引き続き進捗がありました。同事業部は2018年第1四半期、事業所の拡張も続けました。コーポレート・ソリューションズは2014年よりメキシコでも事業を行ってきましたが、新たに立ち上げた現地子会社を通じて保険を直接販売する認可を受けることで、第1四半期にこの国における存在感を強化しました。

昨年は大規模な自然災害による被害がありましたが、その後、料率だけでなく各種条件も改善の兆しを見せています。ただ、そのペースは地域やセグメントによってまちまちです。

ライフ・キャピタルはキャッシュフローを飛躍的に伸ばし、生命・医療の元受保険のリスクプールにおいて業績を伸ばし続ける

2018年第1四半期、ライフ・キャピタルの総キャッシュフローは飛躍的に伸び、7億500万米ドルとなりました。これは英国におけるReAssure事業が計上した余剰資本、2017年末のソルベンシーIIの算出による確定、さらにReAssureの5%の持分をMS&ADに対して売却した際の売却益の恩恵を反映しています。

すでに発表されたとおり、2017年10月にMS&ADはReAssureの新規発行株式の5%を取得することに同意しました。さらにMS&ADは第1四半期中に持分を増やし、当初取引の完了時点で15%となります。

同事業部の2018年第1四半期の純利益は300万米ドルとなりました。英国の投資市場の業績悪化によるユニット・リンク型および配当型のインカムの減少がマイナスの影響となりました。

同四半期の総収入保険料は倍以上の14億米ドルとなりました。オープンブック事業が全体的に伸びたことが反映されているほか、iptiQ EMEAに向けた大口のMedEx取引が主な要因となっております。

2017年12月に発表されたリーガル・アンド・ジェネラルとの取引は、ライフ・キャピタルの業績にリスク移転契約の形で2018年から反映され始めました。第7期の移転が2019年中頃に完了する見込みとなっており、現在、規制当局の承認待ちとなっております。

2018年5月7日付けで公開買付による自社株買いを開始

² 総収入保険料にデリバティブ形式の保険契約の保険料も含まれますが、再保険事業部に内部フロンティングしている分は差し引きます。

取締役会と規制当局の承認を得て、スイス・リーは2018年5月7日付けで10億スイス・フランを買入金額の上限とする公開買付による自社株買いを開始します。このプログラムは、会社の資本管理を最優先に考えながら余剰資金があるときには株主へ還元するという当グループの方針を強調するものです。公開買付による自社株買いは、2018年4月20日に開催されたスイス・リーの株主総会において承認されました。

自社株買いプログラムについて詳しくは、ホームページをご覧ください：
www.swissre.com/investors/shares/share_buyback

未来の成長のために技術を活用する

2018年4月4日の投資家説明会において概要が説明されたとおり、スイス・リーはお客様の競争力をサポートしつつ、当グループの新しいリスクプールへのアクセスを促進し、既存のリスクをより効率的に管理するために、その技術戦略(4本の柱を重点とし、全体的なビジネス戦略に組み込まれている)の強化を続けます。

2016年、スイス・リーはグローバルに展開する他の保険会社と連携してブロックチェーン保険イニシアティブ(B3i)を導入し、保険業界においてブロックチェーン技術のアプリケーションを活用する取り組みを開始しました。2018年3月、ブロックチェーンベースの様々なサービスを開発し保険業界に提供する目的で、チューリッヒにおいてB3i Services Ltd社が設立され、保険・再保険の15社が創業株主となりました。

スイス・リー・グループの最高経営責任者であるクリスチャン・ムーメンターラーは次のように述べています。「損害保険市場は引き続きチャンスがあることを示していますが厳しい状況は変わらず、長期的な持続可能性のためには現在の料率水準では不十分という状態です。しかし私個人としては、保険業界の見通しについて明るい展望を持っています。それはリスクプール自体が今後も拡大し続けるからです。当社の各事業部は三つの異なる戦略的差別化要因の上に構築されています。つまり『顧客のアクセス』『リスクの知識』『資本力』です。これは、当社の包括的な技術戦略と共に、私たちの未来の成功の基礎を形成しています。当社は引き続きお客様と共に、世界のレジリエンスを高めるために取り組んで参ります。」

第1四半期の主なデータ(2017年Q1 vs 2018年Q1)

		2017年 第1四半期	2018年 第1四半期	2018年 第1四半期 ¹
グループ連結(総額)	総収入保険料(百万米ドル)	10 199	11 532	
	純利益(百万米ドル)	656	457	678
	自己資本利益率(年換算%)	7.5	5.6	8.3
	投資利益率(年換算%)	3.4	2.2	3.2
	直接利回り(年換算%)	2.9	2.8	
	普通株主資本(百万米ドル)	35 126	32 321	
損害再保険	総収入保険料(百万米ドル)	5 778	6 040	
	純利益(百万米ドル)	321	345	
	コンバインド・レシオ(%)	95.6	92.0	
	自己資本利益率(年換算%)	10.8	13.5	
生命・医療再保険	総収入保険料(百万米ドル)	3 248	3 971	
	純利益(百万米ドル)	193	201	
	直接利回り(年換算%)	3.4	3.3	
	自己資本利益率(年換算%)	11.6	11.5	
コーポレート・ソリューションズ	総収入保険料(百万米ドル)	717	923	
	純利益(百万米ドル)	55	41	
	コンバインド・レシオ(%)	99.6	100.2	
	自己資本利益率(年換算%)	10.1	7.0	
ライフ・キャピタル	総収入保険料(百万米ドル)	652	1 404	
	純利益(百万米ドル)	73	3	
	総キャッシュフロー (百万米ドル)	336	705	
	自己資本利益率(年換算%)	3.9	0.2	

¹ 参考用に、金融商品の認識および評価に関する新しい米国会計基準の影響を除いたものです。新基準は2018年1月1日付けで発効し、過去にさかのぼって適用されません。

スイス・リーについて

スイス・リー・グループは世界のレジリエンス向上を目指し、再保険、保険、その他保険ベースのリスク移転で世界をリードする大手再保険会社です。自然災害および気候変動、また高齢化社会からサイバー犯罪に至るまで、様々なリスクの予想と管理を行っています。スイス・リー・グループの目標は、お客様のために新しい機会とソリューションを生み出し、社会のさらなる繁栄と発展を可能にすることです。1863年にスイスのチューリッヒで創業したスイス・リーは、世界約80拠点にて事業を展開しています。大きく3つの事業部門に分かれて運営を行い、それぞれの事業部門がグループ全体の理念に寄与する独立した戦略と目標を掲げています。